

始良市校区まちづくり事業

協議会名：蒲生校区コミュニティ協議会

事業名：蒲生壮年ナイターバレーボール大会 参加人数 320人

【事業の内容】

蒲生（蒲生校区内9地区と漆・西浦校区）地区で、9人制バレーボールの対抗戦を、予選リーグ2日間・決勝トーナメント2日間行った。

参加資格は、女性30歳以上、男性35歳以上。試合には、女性が5名以上出場すること。

練習期間を1週間設けたのち、大会を4日間行った。

予選は抽選により3グループに分かれ、2戦ずつ2日間かけて行った。

結果により、A・B・Cクラスに分かれ、2日間の決勝トーナメントを行い、各クラスの優勝チームが決定。

平成30年度は、16チームが出場した。



【事業運営】

大会前の練習については、地区ごとに体育館での練習日を割り当て。

主審・副審については、バレーボール同好会に依頼。線審は、青年団や各地区に割り当て。

本部の運営は、主にスポーツ推進委員・市の校区担当職員が行った。

【事業実施スケジュール】

4月6日まで 参加申込書提出

4月11日 監督会及び抽選会

5月14日～19日 各チーム練習期間

5月21日～25日 蒲生壮年ナイターバレーボール大会

4月11日（監督会及び抽選会）

参加申込書を提出した16チームの監督会を開催し、組合せ抽選と実施要項の検討を行った。

5月14日～19日（練習期間）

各地区、割り当てに従い練習を行った。

5月21日～25日（大会開催）

21・22日（予選リーグ）

各地区から16チームが参加し、ABCパートに分かれ、2試合ずつ実施。

24・25日（決勝トーナメント）

予選の結果ABCクラスに分かれ、トーナメント戦で決勝まで実施。

熱戦の末、Aクラス『川東和紙チーム』・Bクラス『中央Aレッドチーム』・Cクラス『迫すみれチーム』が優勝し、大会が終了した。

反省会も盛り上がり、各地区の親睦が深まった。

【事業を振り返って】

練習を含めて長期間にわたる地区対抗バレーボール大会は、各地区の協力体制も整っており、町民の楽しみなイベントになっている。

各地区でチーム編成を行い、練習期間を設けることで、参加者の連携が取れ、その後、4日間の大会において、応援も加わり団結力が強くなって行く。

大会終了後は、反省会があり、地区内の交流の輪は、一層広がりを見せている。今後も恒例行事として、継続していきたい。